

きかせて、たのしいおはなし

ワクワクしたり、ドキドキしたり。
物語の楽しさが、いっぱい詰まった絵本です。



『コッコさんのおみせ』 片山 健／さく・え 福音館書店



お店屋さんごっこをしているコッコさん。お客さんが誰も来てくれないので、自分から配ってまわることにしました。みんなよろこんで食べてくれましたが、やっぱりお母さんのカレーとサラダにはかなわないようです。

あたたかな雰囲気と丁寧な絵に引き込まれます。

『わにわにのおふろ』

こかせ 小風 さち／ぶん 山口 マオ／え 福音館書店

お風呂が大好きなわにの“わにわに”。木版画で描かれた絵はリアルでこわい顔。でも、お風呂におもちゃを浮かべたり、シャワーをマイクに歌ったりと、とてもおちゃめ。“きゅるりきゅるり”、“じょろろーん”など音の表現も楽しく、赤ちゃん絵本をそろそろ卒業する子どもにおすすめです。



『どろんこハリー』 ☺

ジーン・ジオン／ぶん マーガレット・プロイ・グレアム／え
わたなべ しげお／やく 福音館書店



ハリーは、黒いぶちのある白い犬で、お風呂に入るのが大嫌い。ある日、外へ抜け出しあちこち遊び回っている内に、からだは汚れて真っ黒。白いぶちの黒い犬になってしまっても大変なことに……。さて、家に帰っても家族に気づいてもらえるかな？

『ガンピーさんのふなあそび』

ジョン・バーニング／さく みつよし なつや／やく ほるぷ出版

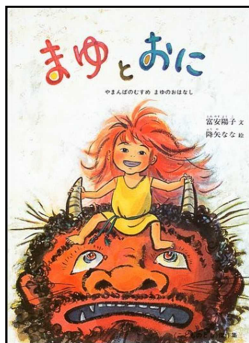
ある日、ガンピーさんが船に乗ってでかけると、みんなが次々乗ってきました。しばらくは一緒に楽しく川を下っていましたが、その内けんかが始まり、船はてんぷく。みんな川の中へ落ちてしまいます。岸まで泳いで身体を乾かして……。

ゆったりした雰囲気が心地いいお話です。



『まゆとおに』(やまんばのむすめ まゆのおはなし)

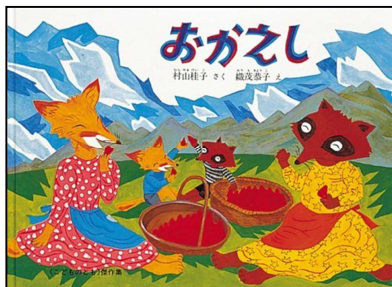
とみやす ようこ 富安 陽子／文 ふりや 降矢 なな／絵 福音館書店



お腹をすかせた鬼が雑木林で出会った女の子、まゆ。鬼はまゆを煮て食べようと岩屋へ連れて帰ります。何も知らないまゆはお手伝いしますが、あまりの怪力に鬼もたじたじ。なんとまゆはやまんばの娘だったのです。

『おかえし』 村山 桂子／さく おりも きょうこ 織茂 恭子／え 福音館書店

きつねの奥さんがかご一杯のいちごを持って、たぬきの家へ引っ越しの挨拶にやってきました。「それじゃわたしもおかえしなくっちゃ」。たぬきの奥さんは、たけのこを持ってきつねの家に。するときつねの奥さんはそのおかえしに……。



繰り返される「おかえし」が楽しい絵本。

～その他にも～

『かばくん』・

岸田 衿子／作 中谷 千代子／画 福音館書店

『くまのコールテンくん』

ドン＝フリーマン／さく まつおか きょうこ／やく 偕成社

『ぞうのエルマー』

デビッド・マッキー／ぶんとえ きたむら さとし／やく B.L出版

『ちいさいおうち』・

ばーじにあ・りー・ばーとん／ぶん・え いしい ももこ／やく 岩波書店

『ロージーのおさんぽ』

パット・ハッチンス／さく わたなべ しげお／やく 偕成社

『ロバのシルベスターとまほうの小石』

ウィリアム・スタイグ／さく せた ていじ／やく 評論社